

学校改革プロジェクト委員会（研究推進）通信

平成 29 年 9 月 6 日

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成 28 年 12 月 21 日、中央教育審議会）において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習・指導の改善・充実のために、ICTを活用することも効果的であると示されています。

○ICT活用の具体例

- ・コンピュータを用いて情報を収集し、それらを多面的・多角的に吟味する
- ・大型ディスプレイ等を用いて発表したり互いの情報を交流したりして、他者の感想や意見を基に自分の考えを広げ深める
- ・話す様子を撮影して自身の話し方を振り返り改善をする

が示されています。本校でも、天野先生が書画カメラを活用した授業を行っています。また、吉田先生は可動式テレビを活用しています。ぜひ、ICTを活用した授業に挑戦してみませんか。

教員は、環境の変化をつかみ取り、その状況に応じた学びを提供するために学び続ける存在でなければならない（「学び続ける教員像」という文言が、教育再生実行会議提言や中央教育審議会答申で幾度となく出てきます。小学校・中学校がどのような教科指導をしているのか、特に本校の生徒の多くを占める白鳥地域から入学する生徒が「どのような学び方をしてきたのか」を知ることが、授業改善につながると思います。

書画カメラをプロジェクトに接続していると、進路指導室のメンバーが自然に集まり、ワイガヤ会議がはじまりました。

この写真は天野先生が書画カメラを使用していますが、授業の後半では、生徒がグループ課題の解答を説明するために使用をしていました。



第2回 研究授業・授業研究会

9月21日（木曜日）7限 1年1組 国語総合（宮園教諭）

岐阜大学棚野勝文教授を招聘し、研究授業・授業研究会を実施します。当日の帰りのSHRは伝達事項を最小限にし、15:40までに1年1組に集合してください。授業研究会は、17:00に終了予定です。できるだけ予定を入れず、多くの先生に参加していただけたらと思います。よろしくお願いします。